

# 町内に空き家が増えています

## 白鷹町の空き家の状況と対策について

近年、全国的に問題になっている「空き家」について、町でも対策を検討してきました。白鷹町内における空き家の現状、空き家に対する対応等についてお知らせします。

### なぜ今、空き家が問題に？

居住者の高齢化に伴い子どもへの家への転居や福祉施設への入居、相続はしたが居住しない等、さまざまな理由により空き家が増えています。

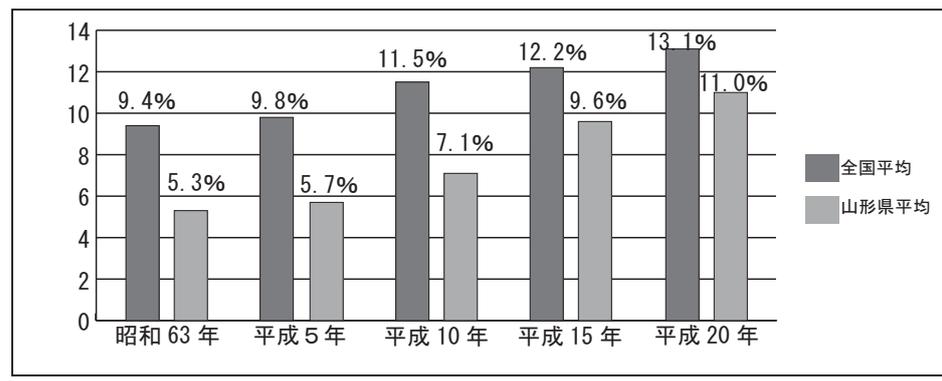
以前は地域内で空き家所有者の特定が容易であったことや、所有者側に「隣近所に迷惑をかけられない」という意識が強かったことにより、空き家問題はあまり表面化せず、地域内で解決できていました。しかし、プライバシー意識の変化や核家族化などによって、空き家の所有者の特定が地域では困難になってきたことや、所有者の適正管理意識が薄れることにより、放置される空き家が見受けられるようになってきています。

### 国、県における空き家の現状

全国の空き家の件数は増加傾向にあり、総務省統計局がまとめている「住宅・土地統計調査」によると、平成20年現在での空き家数は757万戸に上っています。住宅総数(5759万戸)に占める割合は13.1%で、およそ8件に1件が空き家という状況です。

また、県内におけるの空き家率も、平成20年には住宅総数(約43万2700戸)の11%を占めています。およそ9件に1件が空き家となっている状況で、その割合は国と同様に年々増加する傾向にあり、対策が急がれています。

【空き家率の推移】



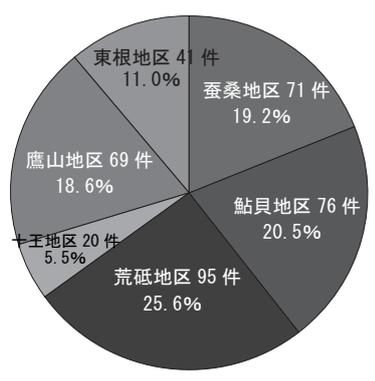
\*住宅・土地統計調査より

### 白鷹町における空き家の現状

町では、平成25年度に各地区のご協力をいただき、空き家調査を実施しました。調査

の結果、町内における空き家の件数は372戸で、町全体の住宅戸数(約4730戸)の7.9%を占め、約12件に1件の割合となっています。

### 【空き家の地区別割合】



\*平成25年度空き家調査より

### 空き家が及ぼす影響

管理不全な空き家は、景観を損なうなどの問題だけでなく、建物の倒壊や落雪などで近隣住民等へ損害を及ぼす可能性があります。空き家の所有者が知らない間に加害者になる危険性さえあると言えます。さらに、管理不全な空き家があると「地域の経済的価値、地域活力が低下する」という調査報告もされています。

### 白鷹町の空き家対策について

これらの現状を受け、町としても国、県などの関係機関と連携し、防災上の視点からの危険な状態の空き家への対応、また、利活用に向けた検討研究、条例設置への検討研究など、総合的な空き家対策を行っていく必要があると考えています。

今後の空き家対策については、町だけではなく、地域や町民の皆さんの協力が不可欠ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

